

# 会 議 録

## 1 会議名

令和7年度 第9回高士区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 報告事項（公開）

①戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園の統合園の設置について

②地域独自の予算事業の一覧について

### (2) 自主的な審議（公開）

・自主的な審議事項について

## 3 開催日時

令和8年2月19日（木）午後6時30分から午後7時59分まで

## 4 開催場所

高士地区公民館 大会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員：上野副会長、上野(美)委員、塩尻委員、高橋会長、田中委員、  
塚田(幸)委員、塚田(誠)委員、馬場委員、日向副会長、保坂委員、  
山口委員（欠席1名）
- ・幼児保育課：徳永副課長
- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【高橋会長】

- ・会議の開会を宣言

・挨拶

【村山副所長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【高橋会長】

・会議録の確認：上野副会長に依頼

次第3議題「報告事項」の「①戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園の統合園の設置について」に入る。幼児保育課の説明を求める。

【幼児保育課 徳永副課長】

・挨拶

まず、戸野目・上雲寺・高士・諏訪保育園の統合園の設置に関するこれまでの経過と今後の予定等について、概要を説明する。

市では、令和6年2月に策定した「保育園の適正配置等に係る第4期計画」において、児童数の減少や施設の老朽化等の課題を解消し、児童の適正な集団生活の場の確保と良好な保育環境の提供の実現を図るため、雄志中学校区内における戸野目・上雲寺・諏訪・高士の公立4保育園を統合し、新たに保育園を移転整備することとした。

また、統合園の建設候補地の選定に当たり、災害に対する安全性や交通アクセスなどを十分に考慮した上で、下池部地内の雄志中学校南側の市有地を選定し、保護者や地域の皆さんとの意見交換を実施した。全保護者を対象に、昨年5月に実施した建設候補地に関する意向調査において、当該候補地の賛否を確認したところ、大勢の賛同をいただいたことから、市が提案した雄志中学校南側市有地を建設候補地として決定した。

新保育園の整備については、設計等の事業着手から開園までおおむね4年から5年程度の期間を要するものと見込んでいる。

それでは、令和7年度における事業の実施状況について、概要を説明する。

今年度は、建設候補地周辺の埋蔵文化財の試掘調査を実施した。その結果、遺跡等に関連する埋蔵物の出土はなかった。さらに、今後予定する設計業務等に係る基礎資料とするため、同じく建設候補地周辺の地質調査を実施し、園舎の設計や施工等に必要となる詳細情報を把握するとともに、新保育園の整備に当たり、大きな支障は無い地形・地質状況であることも確認できた。

令和8年度以降は、園舎等の設計業務に着手し、より具体的な園舎デザインや施設レ

アウトの検討と合わせて、詳細な整備スケジュールも策定することとしている。その具体的な検討に当たっては、日頃から深く保育業務に携わっている現場の職員、園長、保育士等を始め、必要に応じ、保護者や地域の皆さんの意見も広く参考にして進めていきたいと考えている。

また、これまでに実施した保護者や地域の方々との意見交換等では、「児童数の減少や施設の老朽化の課題解消を図るため、新保育園の整備をよりスピード感を持って計画的に進めてほしい」、「施設内外における児童や保護者、さらには職員の安全対策や防犯対策に万全を期してほしい」などの意見をいただいている。繰り返しになるが、今後の設計業務において、これらの意見も考慮しながら、検討を進めていく。

・資料 1-1、1-2、1-3 に基づき説明

なお、今回の津有区地域協議会への諮問については、新保育園（公の施設）設置の構想段階における諮問として位置付けている。今後、新保育園の全容が確定した段階で、既存保育園の廃止について、高土区地域協議会の皆さんにもお諮りしたいと考えている。

最後になるが、引き続き、子どもたちの目線を大切にし、保護者や地域の皆さんのご意見を丁寧にお聞きしながら、長く地域に愛される保育園の整備を着実に進めていく。

**【高橋会長】**

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

私から質問する。今の高土保育園の跡地の活用案はあるのか。

**【幼児保育課 徳永副課長】**

具体的にはこれから検討する。幼児保育課だけではなく、市の各部署や教育委員会なども含めて活用方法を照会し、その中でよいものがあれば、採用していきたい。その際は、改めて地域の皆さんにもご意見をお聞きしなければならない。

また、市でよいアイデアがなければ、地域の皆さんにも活用方法の照会や確認をさせていただきたいと考えている。

**【高橋会長】**

他に質問、意見はあるか。

(発言無し)

以上で、次第 3 議題「(1) 報告事項」の「①戸野目・上雲寺・高土・諏訪保育園の統合園の設置について」を終了する。

・幼児保育課退席

次第3 議題「(1) 報告事項」の「②地域独自の予算事業の一覧について」に入る。事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

・資料2に基づき説明

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

【塩尻委員】

稲谷【だんとうの大杉】保存会については、1月7日付けで今年度2回目の市ホームページ更新をした。そこには保存活動に関する詳細な計画等が掲載されているので、ご覧いただきたい。

【高橋会長】

他に、質問や意見はあるか。

(発言無し)

次第3 議題「(1) 報告事項」の「②地域独自の予算事業の一覧について」を終了する。

次第3 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

・資料3に基づき説明

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

続いて、自主的審議（課題協議）の進捗状況について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

・資料4に基づき説明

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問や意見はあるか。

(発言無し)

続いて、本日の協議の進め方について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

・資料 4、5 に基づき説明

取り組むテーマが決まり、次は審議テーマ名を協議していただくが、「コミュニティ」はさまざまな分野に関わり、全ての分野を含む総称である。このため、どのような解決策とするのか不明確なままでは、審議テーマも協議しづらいと考える。

取り組むテーマの方向性がぶれないよう、委員全員が共通認識を持つため、まずは「コミュニティ」のために取り組むべきこと、取り組めることについて皆さんから意見をいただき、そこからテーマ名を検討することを提案する。本日は「コミュニティ」のために取り組むべきこと、取り組めることについて、お一人ずつ意見を伺いたい。具体的な解決策についての意見の他に、この課題について取り組みたいといった大まかな意見でも構わない。本日いただいた意見をまとめ、次回以降、審議テーマ名を検討する。

**【高橋会長】**

ただ今の説明について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

それでは、一人ずつ意見を伺う。

まず私から発言する。子育て中の保護者の意見と、町内会長のアンケート結果を参考に考えをまとめた。

取り組むべき問題は、「多くの皆さんから参加していただけるきっかけづくり」、「参加者と主催者が一緒に楽しむ活動」、「近所に屋内で集い、遊べる場所づくり」、「近所付き合いの希薄化」、「世代間交流」である。

具体的には、地域の皆さんとのつながりの場所（居場所）を提供する活動としたい。また、地域の方に近い場所であり、誰もが気軽に参加しやすい町内会館を拠点に、茶話会や子供たちが遊べる内容を考えることからスタートしていきたい。

活動に際しては、開催する町内の各団体の方からも協力していただき、地域協議会委員も加わりながら、さまざまな提案をして、活動できないかと考えた。計画段階から多くの皆さんと活動できれば、幅広い層の皆さんの参加が見込めるのではないかと考えた。これを3年目の活動とし、4年目には高土区の全体の活動につなげていけたらと考えた。

**【渡邊係長】**

地域協議会委員の任期の3年目に、会議の会場を町内会館等に移し、地域の皆さんの声を聞き、触れ合ってくる。その際、地域の課題をそのままお話ししてもらえれば一番よいが、とにかく人と直接触れ合うために外に出かけていこうという提案かと思う。そ

の中で、地域の皆さんと地域協議会委員とで茶話会を開ければ更によいのではないかと。

#### 【日向副会長】

取り組むべき問題の一つ目は、高齢者の孤立だと考える。

具体的な解決策として、お茶飲み会の開催や見守りの実施として見守りネットワークを作成してはどうかと考えた。

また、取り組むべき問題の二つ目は、高土区は各世代それぞれが孤立していることである。成人、若者、子育て世代、高齢者、各世代が孤立している。

具体的な解決策は、定期的なイベントや地域サロンを開催する。先日の子育て中の方との話し合いも、ファミリー綱引きの延長上だったので、思っていることを素直に言いやすい状況でコミュニケーションが取れた。やはり、行事の途中などのタイミングで会を開催した方が参加しやすい。高土地区の運動会は、今は午前中のみ開催しているので、その後を利用して、地域の皆さんとコミュニケーションを取れる方法を考えてみてはどうか。

改めて集合するとなると、足取りが重くなるので、行事のついでに開催する。ふるさと高土まつりの後でもよいと思う。

#### 【上野(美)委員】

交流の場が減少し、一度無くなってしまった事業や活動を元に戻すことはとても難しい。コロナ禍で無くなった活動で復活したものは、ほとんど無い。

私の母も仲間と旅行に行っていたが、コロナ禍をきっかけに無くなった。収束後も面倒くさいからと、旅行へ行かなくなり、寂しいと思う。

イベントを開催するのが一番だが、全部を元に戻すのは難しい。事業の縮小を前提としても続けることは容易ではない。高土ルミネの実行委員も、元のメンバーが変わったり、人数が減少したり、新しい人が加入したりと、何とか続けている。細くても長く事業を続けていけるような仕組みづくりを考えていくのが大事だと思う。

#### 【塩尻委員】

ささやかな交流場所を見つける手段の一つとして、去年、だんとうの大杉の近くにベンチを一つ置いてみた。そこはセブン-イレブンの移動販売車が来る場所で、買い物に来られる高齢者の方も待ち時間に座れば話もできるので、今年もう一つ増やすことを考えている。

交流会などは、その準備や後片付けが大変になるが、ある程度サポートしてあげれば、

少しは何かできるのではないか。初めから大きいことではなく、ささやかなお付き合い  
というか、少し手を貸し、何かしてあげれば続くのではないか。

**【鈴木主事】**

買い物のついでにそこに椅子があるから、会話もできて、交流のきっかけにもなる。  
何かを続けていく中でも、協力して準備などの負担を軽くすることで、続けていく力に  
もなるという意見である。

**【塚田(誠)委員】**

コミュニティとして、今は子供たちと高齢者のつながりが全然ない。以前は小学生が  
老人ホームを訪問し、交流する機会もあった。近所で高齢者の人たちが集まるところに、  
子供たちも一緒に話せる場所があるとよいのではないか。

私は農家なので、田植え体験として、都会で生活する人がそういうことができれば、  
いろいろなところから人が集まってくるのではないか。それから、収穫して余った野菜  
などを無料で置く場所を作れば、そこに野菜が欲しい人や野菜作りに興味がある人が集  
まってくると思う。

**【鈴木主事】**

余った野菜を欲しい人がそこに集まることで、交流のきっかけになる。気軽に話せる  
場で、いろいろな世代が交流できる機会になるとよい。

**【渡邊係長】**

全世代を集めるのではなく、ある世代が集まっているところに他の世代が行くという  
ことである。

**【田中委員】**

何でも無くなるばかりで、新たにコミュニティの場を作るのは難しい。昔は町内で茶  
飲み会があり、高齢者や主婦が、月や週の決めた日に 100 円ぐらいずつ持って会館に集  
まっていたが、今は無くなった。他の集まりも、無くなる一方で、新しくという発想が  
生まれない。

町内の予算も、去年の懇親会などの費用を見るとゼロで、そういう項目自体を無くす  
話になってしまい、来年度は、そういうことを行わないという話になっている。だから、  
これから何かを作ろうというのは、非常に難しいと考える。

今、ゲートボールに誘われて行っている。高齢者は家にこもっている人が多く、私も  
そうだった。今は、初めて会った人たちとゲートボールをしたり、休憩時間にいろいろ

話したりなど、交流できている。交流のきっかけを作れば、同じ趣味を持った人たちが集まり会話ができる。そこで少しずつ輪が広がっていくのが理想である。

#### 【鈴木主事】

集まる機会が減少する中で、自分の興味があるものや、同じ趣味を持った人が集まることで、初めて会った人ともコミュニケーションが取れる。逆に、そこで会うことで新しい輪を作ることができる。

#### 【塚田(幸)委員】

私の町内も寄り合いはゼロになった。元日の朝 10 時に集まり、新年の挨拶をしていた年始会もコロナ禍で無くなった。役員は、私の世代よりも若い 60 代後半の人たちで、再開を提案しても、集まって飲むという発想がない。年に 1 回の挨拶くらいは、集まってすべきだと思うが、賛同してくれない。

その他に、輪投げなども行っていたが、やはり高齢で膝が悪い、足腰が悪い、デイサービスに行き始めたなどの理由で人が集まらない。3 人しか参加がなく、その日は解散したという話も聞いた。若い人がいなくて、足腰の悪い高齢者が多い。何とか皆さんと楽しめることがしたいと思っている。

数年前は高士地区の空き地でグラウンド・ゴルフを行い、高齢者の方も集まっていたが、私は今まで仕事をしていたので参加できず、年齢も皆さん高齢化してきて今はできない。私自身も、何とかしたいと思うが、今は近所のお茶飲みすらなく、特に男性はなかなか集まる機会がない。今はグラウンド・ゴルフを楽しみにやっている。最初はお茶飲み会だけで 2、3 人だけでも集まって、それがだんだん 1 人でも 2 人でも増えてくれればよいが、中々そういうわけにはいかない町内なので悩んでいる。

#### 【馬場委員】

現状を考えると、隣近所が何をしているか分からないということが一番感じている。解決するには、住民の情報共有の場を増やさなければならないと思う。それにはこの公民館に集まるのではなく、地元の町内会館を使い、2 週間に 1 回でも、月に 1 回でも良いので集まれる人が集まり、まずはお茶飲みなどで気軽に会話をする。その次に、ボッチャや輪投げなどの競技をするという形で進めてはどうか。

次に、今、中学校では登下校時の送迎に関する問題がある。最近、高士地区振興協議会で乗用車を購入した。規約がいろいろあると思うが、それを活用する方法として計画を立てて予算をあげて、一人当たりの負担を 500 円から 1000 円と大きくせずに、200 円

くらいの少額にして活用できないかと考える。

**【上野副会長】**

乗用車は、すこやかサロンの送迎と、高士八社五社が出前講座に行くときに使っている。燃料を入れれば貸し出しは可能である。

**【鈴木主事】**

ひとふさの会で、車の運転ができない方などが一緒にお買い物に行く「お買い物ツアー」の送迎でも使われている。

**【保坂委員】**

町内会の新年総会でのことだが、去年、6年ぶりの秋祭りで、暑気払いを開いた際10人しか集まらなかったことから、やめた方が良いという発言があった。また、年明けにさいの神を行ったが、長期にわたって担当者が変わらず、あまりにもかわいそうなので、やめようという発言もあった。わらは買っており、すぐにやめられないので、今年の秋に刈り、それを来年燃やしてやめるということに総会で決定した。

また、戸数が2軒減少するなど、いろいろなことがあり、役員会も困惑している。結局、コロナ禍以降に町内で集まることがなかったので、役員内では、秋祭りは毎年開催するが、暑気払いを無くし、宮司が帰った後に簡単なものをやろうという話が出た。町内の皆さんも賛成してくれて、顔を合わせたいと思うが、賛成しても集まらなければ意味がないという意見もあり、難しい。町内会としては、やめるものもあるかもしれないが、形を変えて実現できるように協議していきたい。

**【鈴木主事】**

町内で、いろいろな行事をやめようという声が出る中でも、別のやり方を検討し、続けていくことが大事だと思う。

**【山口委員】**

男女を問わず、年齢も関係なく、集まって意見交換できる場所が必要だと考える。高士地区全体となると、小学校を使わなければならない規模になり、防犯上入れないこともある。難しいと思うが、町内会館を使い、そこから意見を上げていくしかないと思う。

また、有線放送がなくなったが、皆さんの町内はどうしているのか。私の町内の67戸のうち63戸はLINEのグループに入っている。他の町内は連絡手段をどうしているのか。災害関係では防災無線があり、去年は熊が目撃された際、私の家では三和区の放送が聞こえたが、皆さんはどうしているのか。

**【渡邊係長】**

諏訪区では公式のLINEのグループがあり、区内で熊が出た際、市の安全メールを登録者へ配信した。今は試験的に行っているが、利用者が多くなると有料になるので、来年度は地域独自の予算事業を使い、拡大して実施する予定である。試験運用では、40人ほど登録されている。諏訪区は250世帯なので、世帯数の16パーセントくらいになる。試験運用でそこまで浸透しているので、これからの活用が期待できる。LINEのグループを活用している地域があることを情報提供する。

**【上野(美)委員】**

それを管理しているのはボランティアなのか。

**【渡邊係長】**

住民組織的である諏訪の里づくり協議会の事務局が中心に管理している。地域で回覧されているチラシや、地域で行われているイベントのカレンダーも載せている。

**【上野副会長】**

雄志中学校が17時で閉まると聞き、中学生のために高士地区公民館を開放することを提案する。17時まではこどもの家が開館しているので、17時から18時までの1時間を中学生に開放する。使用に際し、施設利用料減免の対象団体である高士地区振興協議会から協力してもらおう。自由広場でニュースポーツなどをしながら、18時まで利用してもらおうことを考えている。17時以降はこどもの家の管理人がいなくなるので、私がボランティアで面倒を見ようと考えている。

皆さんから集まることが難しいという発言があったが、それならば行事の都度、または2か月に1回、若者が集まる場を作ってはどうか。特に子育て中の保護者は、行事後に集まり、話をするのが、一番参加しやすいのではないかと。こちらはこの公民館で実施することを提案する。各町内会の会館でもよいが、地区全体で集まるときに開催する方が参加しやすいと考える。

皆さんの意見を具体的にどのように実施していくのか考えていきたい。

**【鈴木主事】**

町内会館はその町内の人しか集まれないが、高士地区公民館にすることで、いろいろな町内の方とも交流ができる。

**【高橋会長】**

いただいた意見は事務局と整理させていただく。

以上で、次第3 議題「(2) 自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。  
次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

**【村山副所長】**

・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

・次回の地域協議会：3月16日（月）午後6時30分から  
高士地区公民館 大会議室（予定）

**【高橋会長】**

以上で次第4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4 その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

**【塚田(誠)委員】**

・高士ルミネについて告知

**【高橋会長】**

他に何かあるか

(発言無し)

**【日向副会長】**

・閉会の挨拶

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。